

# 水呑学区 まちづくり計画

～ 快適・安心・安全・活気のあるまち ～



(水呑小学校・芦田川大橋を望む)

水呑学区まちづくり推進委員会

# 目次

1.	水呑学区の概要（地域の特色）	1
2.	水呑学区まちづくりの推進方針と推進組織	2
3.	水呑学区まちづくりの実施状況	4
4.	水呑学区住民の声から（アンケート集約）	4
5.	水呑学区まちづくり計画の重点課題について	8
6.	まちづくりの基本方向	9
7.	水呑学区まちづくりの実施計画	11

## 《 第二次水呑学区まちづくり計画 》

### 1 水呑学区の概要（地域の特色）

#### （1）水呑学区の自然と地理（地勢、人口分布）

水呑学区は、瀬戸内海に面していることから、年間を通して温暖な気候で住みやすい自然環境である。地理的には、福山市の西南部に位置し、東の芦田川を臨み、西に熊ヶ峰を背にし、芦田川河口に広がる田園と住宅地である。また、地形的には、北の洗谷地域から南の竹ヶ端地域まで南北に細長い地域であり、鞆町や田尻町から福山駅方面に向かう要所となっている。

水呑町の西側は熊ヶ峰の岩盤が不透水層となり多くの水脈を造り、湧き水（井戸水）が点在することで知られ、水呑と言う地名の由来にもなったと言われている。

芦田川の右岸に広がる三新田地域（三つの埋立地からなる）は、長く農地として活用されていたが、1998年ころから都市整備が進み、住宅地として整備され、新興住宅地として発展している。現在、人口は11,500人余であり、三新田地域の住民は水呑町全体の約4分の1となっている。

市民生活に関わる施設については、小学校1校、中学校1校、高等学校1校をはじめ、幼稚園や保育所の就学前施設や福祉施設も多数あり、教育・福祉においても充実してきた。また、医療施設も多く、大型商業施設もバランスよく点在し、住みよい生活環境となっている。

一方、全市的な施設として整備された野球場・水泳場・テニスコート・多目的運動場などがあり、年間を通して、各種スポーツ大会が行われるとともに、福山マラソンも開催されている。

#### （2）水呑学区の歴史と産業（史跡、旧跡、産業経済、特産品）

福山市は、荘園時代から戦国時代を経て、近代は1590年に福山藩が成立した水野勝成の治政がはじまりである。長く続いた江戸時代も1871年の廃藩置県により藩から県となり、その一行政区となった。また、福山市は岡山県西部との数度の行政区の変更の後、広島県に所属され、1916年に福山市制施行が始まる。当時3万人規模の都市であったが、以後、周辺市町村と合併を繰り返し、2013年には46万人規模の都市に成長した。ちなみに水呑町は1956年に福山市と合併している。

水呑町の主要な産業は、漁業と農業であった。瀬戸内沿岸である竹ヶ端地域では長く、海苔の生産を



昭和初期の水呑の全景



平成20年代の水呑の全景



芦田川河口堰



芦田川大橋の全景



竹ヶ端運動公園・野球場



水呑音頭と踊り



主要産業としていた。

熊ヶ峰の東側山麓に広がる農地では様々な農作物が生産され、人々の食糧維持に貢献してきた。また、戦後は織物の産地としても栄え、多くの女子工員等の働く姿がみられたり、織機の音があちこちで聞かれた。

福山駅から鞆町まで鞆鉄道が敷かれていたころには、ラッキョ自動車と愛称される鉄道列車の走る姿と酒造会社や大小の製造工場や農地で働く人々の姿は、のどかな田園風景を写していた。

史跡としては、有名な湧水跡地（水呑七泉）、魚介類の遺物の残された貝塚（浜・洗谷）、学制以前からの教育施設である啓蒙所跡地がある。現在の水呑小学校周辺には、役場・図書館・保育所・農協・警察署・消防倉庫などがあり、水呑町の政治・教育・文化の拠点として変遷してきた。その役割は時代とともに変化し、水呑中学校は向丘中学校として水呑向丘に移転し、誠之館高校の分校や定時制松永高校も廃止となり、立正保育所は三新田に新築移転するなど、現在では水呑小学校が校舎の増築や体育館の新築を終えて地域の教育の拠点となっている。

### （3）水呑学区の文化活動（芸能、風習）

江戸時代には、水野勝成の影響もあり、箏曲、舞踊、茶道、華道、書道など、江戸（東京）の文化が多く取り入れられ、今日の福山の文化として継承保存されている。琴の生産日本一、様々な芸事の興隆、指導者の多さなどもこうした背景があるものと考えられる。水呑町には多くの神社や寺院があり、神社の秋の祭典や寺院のお盆行事はにぎやかに行われる。特に八幡神社の本祭では、御輿かつぎ（けんか御輿）や音頭と踊りには特徴があり、伝統となっている。



水呑の喧嘩御輿（御輿回し）



盆踊り大会（ステージ鑑賞）



文化祭（保育所児の太鼓演技）



文化祭（作品展示）

## 2 水呑学区まちづくりの推進方針と推進組織

### （1）推進方針

水呑学区まちづくり推進委員会は、住民主体の地域づくりに向けて、協働のまちづくりを推進することを目的とし、次の事業を行うこととしている。

- ① 地域課題に取り組む事業
- ② 地域の活性化に向けた事業
- ③ コミュニティの育成に取り組む事業
- ④ その他、目的を達成するために必要な事業

この委員会は、次項に掲げる各種団体・機関の代表者及び学識経験者等をもって構成し、定期的な常任委員会（役員会）を踏まえて、必要に応じて委員会を開催し、実効ある事業推進に努めている。

(2) 推進組織

水呑学区まちづくり推進委員会	1	水呑学区自治会連合会	委員長(学区自治連会長)	水呑学区自治会連合会	1	宮迫	理事(単位自治会長)
	2	水呑学区人権学習推進協議会	常任委員(協議会会長)		2	洗谷	理事(単位自治会長)
	3	水呑学区自主防災協議会	常任委員(協議会会長)		3	小水呑	理事(単位自治会長)
	4	水呑学区文化協会	常任委員(協会会長)		4	高浦	理事(単位自治会長)
	5	水呑学区体育会	常任委員(会長)		5	白萩	理事(単位自治会長)
	6	水呑伝統文化継承保存会	常任委員(会長)		6	宝	理事(単位自治会長)
	7	水呑歴史民族資料保存会	常任委員(会長)		7	山之神	理事(単位自治会長)
	8	水呑学区防犯組合	常任委員(組合長)		8	平木	理事(単位自治会長)
	9	水呑学区防火協会	常任委員(協会会長)		9	土井	理事(単位自治会長)
	10	水呑消防団	常任委員(団長)		10	浜	理事(単位自治会長)
	11	水呑学区福祉を高める会	常任委員(会長)		11	西	理事(単位自治会長)
	12	水呑学区公衆衛生推進委員会	常任委員(委員長)		12	中村	理事(単位自治会長)
	13	水呑学区交通安全自治会	常任委員(会長)		13	鍛冶屋	理事(単位自治会長)
	14	水呑老人クラブ連合会	常任委員(会長)		14	南新田	理事(単位自治会長)
	15	水呑学区女性会	常任委員(会長)		15	南	理事(単位自治会長)
	16	水呑学区福祉ボランティアの会	常任委員(会長)		16	向丘北	理事(単位自治会長)
	17	食生活改善推進員協議会	常任委員(協議会会長)		17	県教舎	理事(単位自治会長)
	18	水呑学区子ども会育成協議会	常任委員(協議会会長)		18	廿日会	理事(単位自治会長)
	19	水呑学区青少年育成員協議会	委員(協議会会長)		19	向丘中	理事(単位自治会長)
	20	水呑小学校	委員(校長)		20	向丘東	理事(単位自治会長)
	21	水呑小学校PTA	委員(会長)		21	さつき	理事(単位自治会長)
	22	向丘中学校	委員(校長)		22	大谷西	理事(単位自治会長)
	23	向丘中学校PTA	委員(会長)		23	日の出丘	理事(単位自治会長)
	24	福山商業高等学校	委員(校長)		24	竹ヶ端	理事(単位自治会長)
	25	水呑立正保育所	委員(所長)				
	26	水呑保育所	委員(所長)				
	27	福山六方学園	委員(園長)				
	28	なの花作業所	委員(所長)				
	29	サンスクエア沼南	委員(所属長)				
	30	エクセル福山	委員(所属長)				
	31	福山若草園	委員(園長)				
	32	第14区民生児童委員協議会	委員(協議会会長)				
	33	在住行政職員会の会	委員(会長)				
	34	水呑公民館	委員(館長)				

### 3 水呑学区まちづくりの実施状況

第1次 2006年度～2011年度

第2次 2012年度～2016年度まで

#### 【これまでに取り組んだ事業】

##### ① 地域課題に取り組む事業

- ・グラウンドゴルフ大会（5月、11月）
- ・ふれあい学習タイム（毎月）
- ・防火設備設置事業（春季）
- ・避難訓練、防災訓練推進事業（冬季）
- ・防犯パトロール事業（7月、12月）
- ・安全パトロール会議（3月）

##### ② 地域の活性化に取り組む事業

- ・広報紙の発行（年間6回）
- ・国際交流事業：韓国馬山（隔年）
- ・盆踊り大会（8月）
- ・敬老会（9月）
- ・ふれあい文化祭（11月）・援
- ・地域福祉活動1 寿配食、託老夢等の支援
- ・地域福祉活動2 福祉会への支援
- ・食育を考える事業
- ・高齢者の健康推進事業

##### ③ コミュニティの育成に取り組む事業

- ・バラ花壇づくり
- ・桜の害虫駆除及び育成

##### ④ 環境美化に取り組む事業

- ・献血運動の推進
- ・環境美化対策、ごみ収集

##### ⑤ まちづくり推進委員会運営事業



グラウンドゴルフ大会



敬老会ステージ発表

#### 【福山市キーワードモデル事業】・・・2013年度まで。

2006年度	環境：井上記念館庭園のビオトープ
2007年度	環境：井上記念館庭園のビオトープ
2008年度	安心・安全：標語板の作成と設置
2009年度	活力：洗谷・浜貝塚の案内板の設置
2010年度	活力：史跡の石柱の設置、ロードマップ整備
2011年度	安心・安全：防災マップの作成
2012年度	教育：夏祭り盆踊り大会用資材
2013年度	教育：馬山文化院訪韓

### 4 水呑学区住民の声から（2013年度実施、2014年度集約したアンケートによる）

今回のアンケートは、第1部として「水呑学区の現状を把握のために」について、第2部として「協働のまちづくりの現状や要望について」について聞いた。要約すると次のようになる。

#### 第1部「水呑学区の現状を把握のために」

##### ① 「住居の現状」について

アンケート調査で回答が最も多かった地域は、「高浦・白萩・宝・山之神・平木」で約24%、続いて「土井・浜・西・中村」が約20%であり、水呑学区中

心部の県道沿いに概ね半数の人が住んでいることがわかる。昨今は三新田地域に住宅が次々と新築され、県道沿いの東側が増えている。

② 「年代構成」について

住民の年代構成は、50歳～64歳が最も多く約32%、次は65歳～74歳が多く約31%であり、50代～70代がまちづくりの主体として活躍しなければならない現状がある。

③ 「男女別構成」について

男女別では、男性の約59%が回答し、女性の41%が回答していることから、主として男性が地域活動に参加していることが分かる。

④ 「家族構成」について

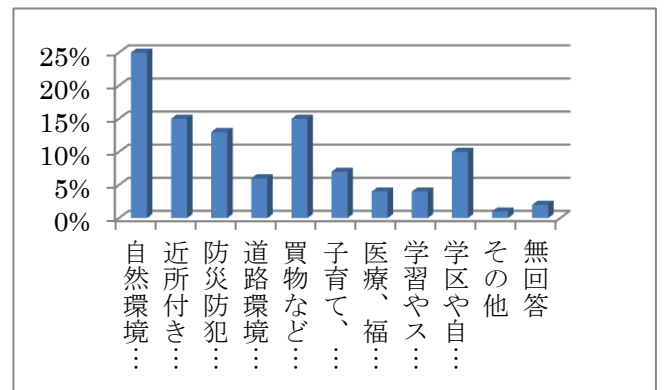
家族構成では、3人～5人がもっとも多く約55%、次いで2人が約29%となっており、2世帯以上が同居されている家庭が半数以上、夫婦等の2人暮らしが約3割となっている。

⑤ 「職業別分布」について

職業構成では、無職が最も多く約41%であり、主として年金生活者と考えられる。次いで会社員・公務員が約28%であり、現役で仕事されている方は約3分の1と考えられる。

⑥ 「地域の住みやすさ」について

水呑学区が住みやすいと受止めている方は、「自然環境が良いから」が約25%、「近所づきあいがしやすいから」が約15%、「買い物など日常生活が便利だから」が約15%、「防災防犯面で比較的安心だから」が約13%の順になっている。



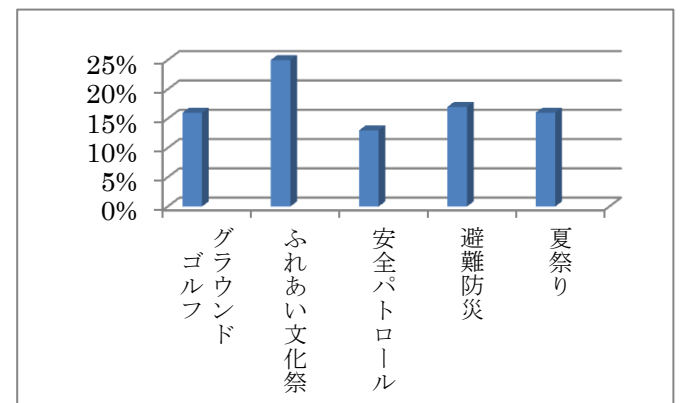
⑦ 「住みにくさの要因」について

水呑学区が住みにくいと受止めている方は、「道路環境・交通の便が悪いから」が約20%、「買い物が不便」が約17%、「無回答」が約20%となっており、水呑学区の中でも道路事情や交通事情をはじめ、生活環境の面で地域格差があることをあらわしている。

第2部「協働のまちづくりの現状や要望について」

① 「協働のまちづくりの認識」について

「ある程度知っている」が約34%、「全く知らない」が約29%、「言葉を聞いたことがある」が約23%、「よく知っている」が約12%となっており、一応の理解者は4割前後と考えられる。



② 「行事や事業への参加状況」について

「ふれあい文化祭」約25%、「避難・防災訓練」約17%、「夏祭り盆踊り大会」約16%、「グラウンドゴルフ大会」約16%、「安全パトロール」約13%などとなっている。文化祭や盆踊り大会などの主要な行事が地域の伝統行事として定着しつつあると思われる。



③ 地域の行事に参加しない理由として

「知っているも参加しようと思わない」が約 40%、「健康上、参加が難しい」が約 28%、「そのような行事があることを知らない」が約 19%となっており、魅力ある行事内容づくり、啓発の課題、高齢者対応などの課題が明らかになった。

④ 「キーワード事業の認知度」について

「防災マップ」が約 24%、「井上記念館の庭園整備」が約 24%、「安心・安全の標語板設置」が約 19%、「史跡の石柱とロードマップ」が約 14%、「浜・洗谷貝塚史の案内板」が約 12%となっており、一定の定着と設置の意義はあったものとする。

⑤ 今後のまちづくりの優先事項について

「安心・安全のまちづくり」が約 27%、「高齢者・障がい者にやさしい福祉のまちづくり」が約 19%、「人の交流を深めるまちづくり」が約 12%、「子育て支援のまちづくり」が約 11%となっている。他に「豊かな心と体を育む教育・学習のまちづくり」「環境・衛生改善に向けたまちづくり」「歴史と伝統文化香るまちづくり」「体育行事・夏祭り・文化祭の充実」などが意見として出されている。

⑥ 「リーダー養成の方法」について

「活動経験者をもって構成する」が約 29%、ボランティアを募集し、組織再編が約 17%、「一部経験者を配し、ほとんどは現方式」が約 16%、「今の各種団体長で組織する役員」が約 13%となっており、順次、若者を取入れた組織運営が求められている。

⑦ 「まちづくりであなたにできることは何ですか」について

「手伝いぐらいはできる」が約 39%、「参加ぐらいはできる」が約 35%、「個人的に忙しくてできない」が約 13%、「主体的にかかわっていきたい」が約 7%となっており、意欲のある人に声掛けし、協力をお願いしながら実施できるものと思われる。

⑧ 「今後に期待するイベントや事業」について

「人と人の絆を深める事業」が約 18%、「高齢者や障がい者への支援事業」が約 12%、「スポーツなどの健康増進事業」が約 10%、「子育て支援事業」が約 10%、「交通事故防止や防犯事業」が約 10%、「盆踊り大会・文化祭」が約 9%、「安全パトロール」が約 9%、「伝統文化の継承事業」が約 7%、「環境保全や環境美化活動」が約 7%、「防災意識啓発事業」が 5%となっている。

⑨ 「まちづくりについての意見」としては、主として次のような意見がでました。

- ・親子で参加できる「釣り大会。カヌーなど」があれば参加したい。
- ・祭りの御輿担ぎ、熊ヶ峰登山に参加したい。
- ・ボートのできる環境を生かしてほしい。川をテーマにしたイベントはどうか。
- ・芦田川河川敷での大名行列、両岸での茶会・鯉のぼりを泳がす。正月のとんどをする。
- ・水呑の地形や歴史を踏まえ、自然環境との調和・景観を生かす事業。
- ・芦田川で御輿を一堂に集めて祭りをする。
- ・グリーンライン展望台、六方学園、運動公園でできる「桜まつり」
- ・竹ヶ端公園の各スポーツ施設を生かしたイベントがほしい。
- ・福山マラソンで、選手の歓迎などを企画する。
- ・水呑の農産物を販売する「道の駅」を設置する。水呑のユルキャラを開発する。
- ・新春町内駅伝大会



- ・八幡神社の御輿回し大会を水呑小学校でする。ふれあい文化祭でも一同で御輿回しをする。
- ・ひな祭りの1週間で、水呑公民館や井上記念館でお茶会などをする。
- ・少子高齢化に伴い、給食事業はできないか。働く女性のための子育てサポートをする。
- ・三新田の各公園を活かしたウォークラリーをする。桜まつり、海苔祭り、機械織り祭り、グラウンドゴルフなどと一体で行う。
- ・水呑の史跡を巡るウォーキングがよい。
- ・福山大食い大会の水呑大会、トウモロコシを何本食べるか。
- ・盆供養の灯籠流し、凧揚げ大会、水野勝成八場祭り・・・
- ・水呑カップ、野球・サッカーなど
- ・節分の豆まき大会、井上記念館にて
- ・河川敷でバーベキュー大会 など

## 5 水呑学区まちづくり計画の重点課題について

### (1) 健康・体力増進

高齢化が進み、50歳代以上が約6割と高齢者がまちづくりの主体となっている。健康・体力づくりをテーマにした行事の工夫が求められている。また、芦田川や熊ヶ峰をテーマにした行事、竹ヶ端運動公園を生かした行事などの声があり、鞆の浦駅伝も一例として考えたい。心身の健康増進が最も大事であり、食生活・衛生面での推進をめざす取組が求められる。

### (2) 安心・安全対策

水呑学区は、自然環境が良く、防犯面で安心であるなどの声があり、安心して暮らせる犯罪のないまちづくりを進めるものとする。また、大雨土砂災害を想定した避難対策・防災対策の再構築は急務であり、計画の策定と訓練の継続性が求められる。さらに、道路の安全対策・道路環境の整備改善に取り組み、住みよい環境のまちづくりが求められる。

### (3) 環境・美化活動

井上記念館の庭園整備、芦田川清掃の活動が定着し、住みよい地域環境づくりに役立っているので継続していくのがよい。また、美しい住環境を保つため、定期的な町内清掃に努め、環境美化運動に繋げていくものとする。

### (4) 伝統文化継承保存活動

夏祭り盆踊り大会は、夏の風物詩として人々に楽しみとふるさと水呑への愛着を呼び起こすものであり、ふるさと意識の共有に繋がるものと期待される。

史跡の石柱と案内板やロードマップは水呑の歴史を知る上で評価されており、さらに周知できる工夫が求められる。また地域のお祭りなどの伝統行事を保存継承していくことを大切にしたい。

### (5) 文化・教養活動

ふれあい文化祭には、老若男女4人に1人が参加しており、学区民がふれあいを楽しむ地域の大切な行事として充実させる必要がある。また、多くの趣味のサークル活動が盛んであり、個々の生きがいを求めて行くための活動支援が必要である。

韓国馬山との交流の歴史は一定の成果がおさめられた。25周年を機によりよいあり方を求めるものとする。

### (6) 高齢者・障がい者支援

中心部に学区の人口の半数が住み、南北に細長い地形であり、中心部では日常生活が便利だという人が多いが、周辺地域では、交通や買い物の不便さが残るとい声がある。引き続き、高齢者にやさしい対策が望まれる。また、高齢者が安心して暮らせ、生きがいを求めていくための地域福祉活動などの取り組みを充実させていく必要がある。

2015年4月の福山若草園の開園に伴い、福山六方学園、なの花作業所と併せ障がい者福祉施設が3ヶ所となり、エクセル福山、サンスクエア沼南など老人福祉施設も数カ所あり、地域の中で共に暮らしていける連携が求められる。

## (7) 教育・子育て支援

次代を担う子どもたちが健やかに育ち、生きる力を身に付けることは、地域に欠かせない要件であり、引き続き、就学前施設・小学校・中学校・高等学校と連携・支援に努める。

## (8) 生涯学習

学習タイム、学習サークルが活発に行われているので、より活発化するよう支援していく。また、人権を大切にしている住民懇談会の工夫が求められる。

## (9) 広報活動

公民館だよりを通じて、地域の活動状況などを中心に、元気ある地域づくりに向けた情報発信や人を思いやり、大切にされる広報に努める。

# 6 まちづくりの基本方向

## (1) 計画の策定の趣旨

この計画は、これまでの成果や課題を踏まえ、さらなるまちづくりの推進を図るために、主役である住民の幅広い意見を基軸にまちづくりの方向性をまとめ、まちづくり活動の『道しるべ』に供するものである。

## (2) 計画の性格

今後のまちづくりの指針とするとともに、住民の方々の幅広い行動指針になることを期待するものである。

## (3) 目標年次

このまちづくり計画は、2017年度（平成29年度）を目標年度とする。

## (4) 計画の見直し

実施した活動の成果を適切に評価するとともに、住民ニーズを的確にとらえ必要に応じて見直しを図るなど、行政や関係団体と協調することにより、実効性のある活動を展開する。

## (5) まちづくりの果たすべき役割

### ① にぎわいに満ち さらなる絆づくり

ア 学区では、各種団体が多種多様な活動をしている。

イ これらの活動を支援し、地域住民が自らを磨き輝かせ、人と人との交流やふれあいにより絆を強めることができるまちづくりを推進する。

ウ にぎわいの創出により交流や活力ある活動の展開をする。

### ② 住民ニーズに沿った継承・新たな潮流事業の創造

ア 継承事業の主なものとしては、夏祭り、敬老会、体育大会、ふれあい文化祭、防犯・子どもの見守り活動などを充実に努める。

イ 新たな事業としては、高齢者・障がい者が安心して暮らせる地域コミュニティ活動の充実に努める。

ウ そのほか、住民ニーズに沿った事業の見直し、新たな事業の創造に努める。

- ③ 住んで良かったと実感できるまちづくりの創造
  - ア 誰もが元気で安心して安全に生活ができ、「思いやり・やさしさ・助け合い」の心もち合わせ、住んでいて良かったと思えるまちづくりに努める。
  - イ 子どもからお年寄りまでが、郷土に愛着が持てるふるさとづくりに努める。
- ④ 住民の「協働のまちづくり」への意識変革
  - 従来 of 行政主導のまちづくりから、今では地域と行政がお互いの責任と役割を分担しながら、地域の特色を生かした住民主導のまちづくりへの意識変革を図り、実践活動を根付かせます。

～ 快適・安心・安全・活気のあるまち ～



## 7 水呑学区まちづくりの実施計画

取組	事業内容	実施主体		計画実施		
		学区	協働	毎年継続	短期	中長期
(1)健康・体力増進	グラウンドゴルフ大会(学区・団体別)	●		●		
	学区民運動会	●		●		
	鞆の浦駅伝	●		●		
	各種スポーツ	●		●		
	衛生・献血運動		●	●		
	食育(高齢者の料理教室)	●		●		
(2)安心・安全対策	防犯パトロール(学区巡回)	●		●		
	子ども登下校時安全見守り活動	●		●		
	防災対策・防災訓練		●	●		
	防火・消火訓練	●		●		
	歩道の安全対策(柵・白線設置)		●		●	
	安心・安全啓発表示(幕・看板)	●			●	
	道路整備		●			●
(3)環境・美化活動	芦田川清掃	●		●		
	井上記念館清掃・庭園管理		●	●		
	町内清掃(道路・水路)	●		●		
	ごみ出し分別の徹底	●		●		
	環境美化・看板設置	●			●	
	バラ花壇整備・管理(向丘バラ園ほか)	●		●		
	桜の害虫駆除(竹ヶ端・六方学園)	●		●		
(4)伝統文化 継承保存活動	盆踊り大会		●	●		
	水呑伝統踊りなど継承活動	●		●		
	史料・表示板の制作・啓発		●			●
(5)文化・教養活動	ふれあい文化祭		●	●		
	文化・教養サークル活動の充実	●		●		
	新年互礼会	●		●		
	国際交流事業	●			●	
(6)高齢者・ 障がい者支援	敬老会の充実		●	●		
	老人会活動の充実	●		●		
	高齢者いきいきサロンの充実	●		●		
	一人暮らし老人への寿配食	●		●		
	世代間交流の促進	●		●		
	避難行動要支援事業		●			●
	障がい者と地域との交流促進	●				●
	社会福祉施設と地域との連携	●				●
(7)教育・ 子育て支援	水呑学区の景観学習(5年生)	●		●		
	昔の暮らし学習(3年生)	●		●		
	ベビーサロン・ゆうみん	●		●		
	子どもの健全育成活動	●		●		
(8)生涯学習	ふれあい学習タイム		●	●		
	住民懇談会(人権学習)		●	●		
(9)広報活動	広報紙の発行(公民館だよりなど)		●	●		



安全パトロール



エクセル福山より



八幡神社

水呑学区地域まちづくり計画

2015年(平成27年)4月  
水呑学区まちづくり推進委員会

